

## 平成28年度人権教育指導者養成事業「医療関係者研修会」アンケート集計結果

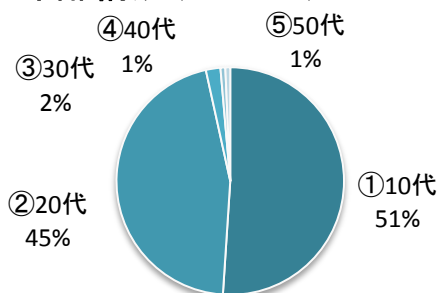
日時:平成28年9月28日(水)

場所:仙台徳洲看護専門学校

### 1 年齢

	数	%
①10代	74	51.0%
②20代	66	45.5%
③30代	3	2.1%
④40代	1	0.7%
⑤50代	1	0.7%
計	145	100.0%

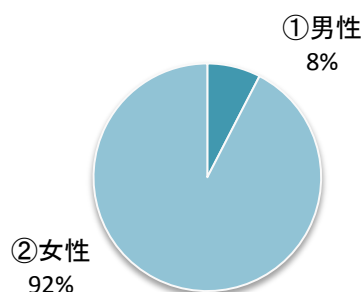
#### 参加者の年齢構成 (n=145)



### 2 性別

	数	%
①男性	11	7.6%
②女性	134	92.4%
計	145	100.0%

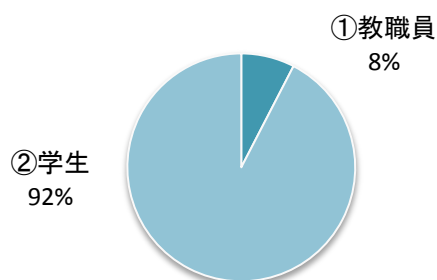
#### 参加者の男女比 (n=145)



### 3 参加者の構成

	数	%
①教職員	11	7.6%
②学生	134	92.4%
計	145	100.0%

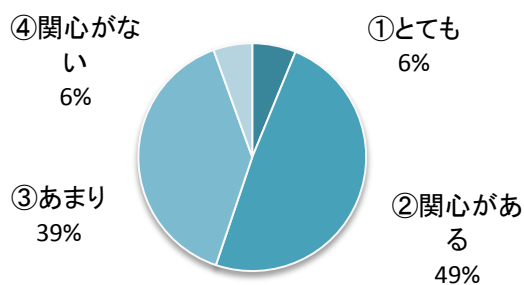
#### 参加者の構成 (n=145)



### 4 あなたは、日ごろ「人権」について関心をお持ちですか？

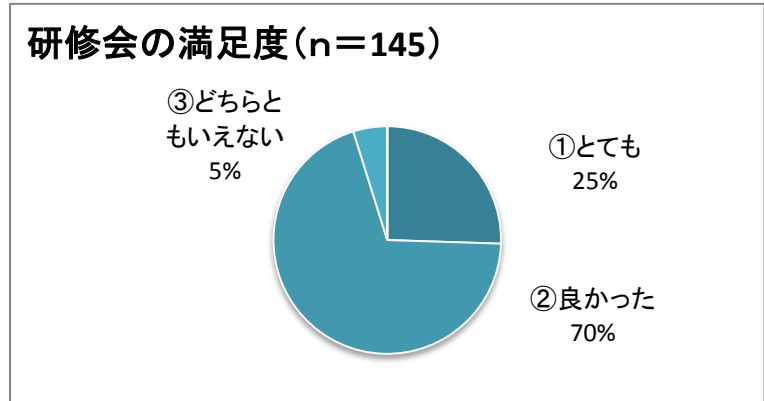
	数	%
①とても	9	6.2%
②関心がある	71	49.0%
③あまり	57	39.3%
④関心がない	8	5.5%
計	145	100.0%

#### 人権に対する関心度 (n=145)



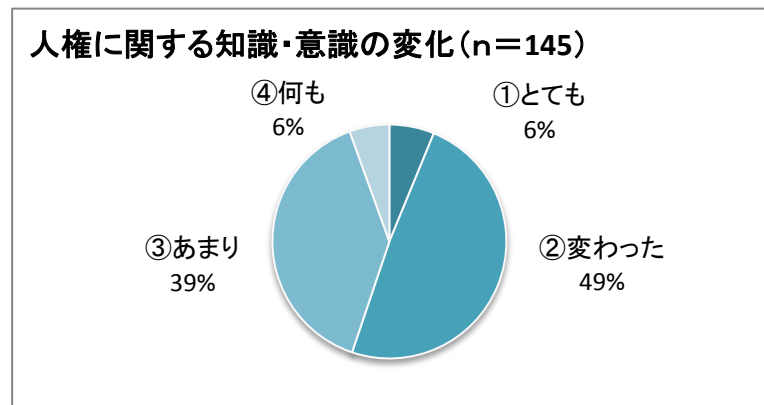
5 今日の「医療関係者研修会」はいかがでしたか？

	数	%
①とても	37	25.5%
②良かった	101	69.7%
③どちらともいえない	7	4.8%
④あまり	0	0.0%
⑤良くなかった	0	0.0%
計	145	100.0%



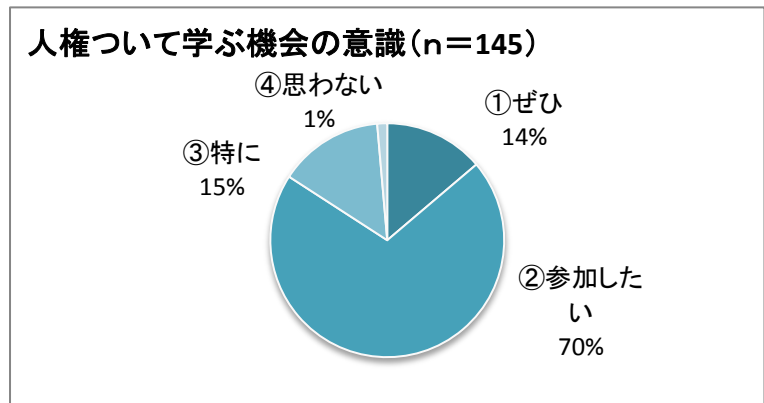
6 今日の研修会に参加して、「人権」についての知識・考え方に変化がありましたか？

	数	%
①とても	9	6.2%
②変わった	71	49.0%
③あまり	57	39.3%
④何も	8	5.5%
計	145	100.0%



7 今後、人権について学ぶ機会があれば参加しますか。

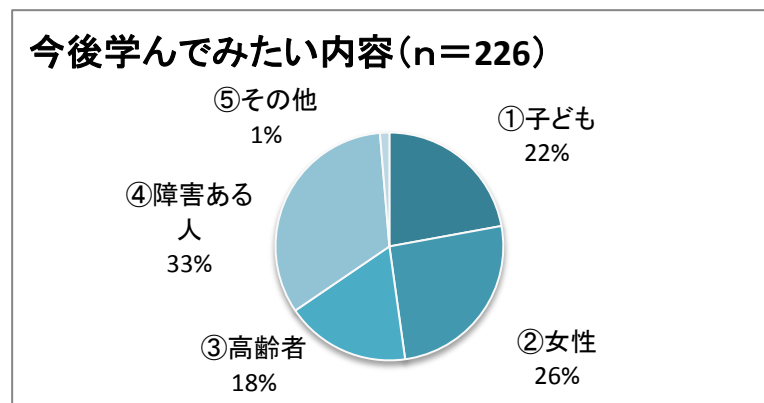
	数	%
①ぜひ	20	13.8%
②参加したい	102	70.3%
③特に	21	14.5%
④思わない	2	1.4%
計	145	100.0%



8 あなたが、人権について今後聞いてみたい内容にはどのようなものがありますか。

	数	%
①子ども	50	22.1%
②女性	58	25.7%
③高齢者	40	17.7%
④障害ある人	75	33.2%
⑤その他	3	1.3%
計	226	100.0%

⑤その他  
性的マイノリティ  
医療関係者・介護関係者



## 9 本日の研修会に関してのご意見・ご感想がありました、ご記入下さい。

- ユマニチュードという人との接し方があることを知った。
- 相手と視線を合わせ、話しかけ、触れること、支援することが大切だということを学ぶことができた。カテーテルの袋の置き方など、患者の気持ちを常に考えることが必要。
- 末田先生の講義は、五感を使ったものでとても新しく分かりやすかったです。三條先生の資料は、とても参考になるものや考えさせられる内容のものが多くあったので、また改めて読んで人権に対する考えを深める糧にさせていただこうと思います。ありがとうございました。
- 人権の根源から知ることができて人間の脳のシステムから平等や差別などが生まれことを初めて知りました。患者の在り方についても考えさせられました。
- 多少の否定するような言葉も、積もり積もったら相手の自尊感情を傷つけ、自分を排除するという働きが備わっているという話を聞き、自分の発する言葉一つ一つ見直し気をつけていきたいと思いました。とても良い話を聞いて良かったです。ありがとうございました。
- ヒトはみたいものしか見えない、見えていない。ということが分かった。また、ヒトは一人ひとり見て感じることも違うので、多くの視点で人と接していきたいと思いました。人権は看護についても役立つので今日の話を活かしたいです。
- 「気づきのワークショップ」で、自分は他人を見ているようで見ていないんだということに気づかされました。「誇り」を持って生きていく大事さを考えさせられました。
- 価値観をもう少し広くもち、目の前の状況だけにとらわれないようになりたいと思いました。また、自分がよかれと思うことを相手に押しつけないようになりたいと思いました。今回の研修会を通して、さらに人権について考えていきたいと思いました。
- 医療現場は他と違い特殊なことがあるということを確認できました。「患者」は病気になったとき、障害をもった時の自分自身であるという言葉、資料3のおばあさんのテーブルを読んで、自分自身と重ねて考えその人らしく生きるということの大切さを改めて考えました。また、支えの信条聞き、障害者との方とのかかわり方を考えよう、見直そうと思いました。医療関係者として人権についてもっと考えを深め、人とのかかわりを見直して以降と思いました。
- 自分の視野の狭さ、考えの浅さを感じた。今日聞いたことをよく考えて、今後p行動していきたいなと思った。
- 日頃から人権について意識を向けて考えていこうと思った。
- 人間は生まれる前そして、亡くなってからも、人としての権利があり、人間としての誇りを誰しもが持って生きていることを改めて理解できた。また、普段の生活や実習を通して、自分の視野の狭さが分かったので、今日学んだことを活かしたい。
- 否定され続けることで自尊感情が壊されて自殺するようになってしまうのは、大昔からの歴史によるプログラムであるという考え方になるほどと思った。前回受け持った患者さんがASLの方で、できるだけコミュニケーションをとったり、触れあうよう心がけていた。
- 人権について普段意識しているのか。相手について関心を持っているのか、をよく考えさせられた研修会だった。意識してその人の価値感、倫理観を見ようとし、対等な立場で人との関わりができるようにしたい。
- これまで障害をもった人を特別な目で見えていた部分があったが、考え方が変わりました。意識して見なければ周りは見えてこないことに気づきました。また、自由には責任が伴うものだと感じました。病院で患者さんと接するときには、一人の人間としての尊厳を守りながら関わる必要があると改めて感じました。

- 誇りを持って生きる権利があるというのが頭に残りました。
- 実際の事例や新聞記事を読みながら話を聞けたので身近に感じやすくて良かったです。人権は守られるべきものであるし、平等であるものだと思う。でも意識して見なかったり、気づかないふりをして、いつの間にか傷つけたり、優劣をつけているのだと感じた。本日は、研修会に参加して良かったと思う。
- 学校の授業の中でも、人権について学習していたが、今回の研修会で改めて人権の大切さを知った。人と人の関わりの中で、人権は根本的な所にあるため、自分なりにも学習していきたいと思った。
- 久しぶりに人権についての講義を受けると改めて関わる人々を大切に尊重することが重要だと気づかされます。このような場合は、本当に大切だと思いました。
- 今回の研修会を受けて、改めて人権の重みを知ることができました。自分が他人に与える影響がどれほど大きいのか実習での患者さんとの関わりを通して理解してきたが、今回の研修会で学んでみて今後の言動を改めて気をつけていきたいと思った。
- とても考えさせられました。意識しないと一点に集中してしまっって周りを見ていないということに気づかされました。人権については、とても深くももっとも話を聞いて考えてみたいと思いました。
- 自尊心は持つものではなくて初めから持っていて、褒められたり喜びを経て自尊心を育むということにすごく感心しました。また、否定されることで脳が萎縮すること、知らず知らずのうちに他人をそういう危険にさらしていたりいるかもしれないと思いました。本日のお話を聞いて、少しこのお話を意識することで自分の感情の豊かさもだけど、他人に対する接し方や「人権」を考えた関わりができたらいいなと思いました。
- 人権についての研修会に参加してみて、普段から人と接していて冗談を言いあっていることもあるが、もしかしたら私がいったことで傷ついている人がいるかもしれないと思いました。自分のいった言葉に責任をもって、相手のことを考えながら行動していこうと思いました。
- 普段意識していない部分にも視点を向けて物事を見ていきたいと思った。
- 話の内容が分かりやすく理解できた。末田さんの話を聞いて意外と自分は他人を見ているようで、全然見ていないんだと改めて感じた。
- あまり日頃から人権について考えることはありませんでした。人は見ているようで全体的には見ていないのだと思いました。
- 人権の意思決定可能範囲の話に対して、知的能力や意思能力が低いと選択決定ができないとのことだが、資料通り説明で考えていくとその低いエリアの人たちの行為行動は、我々が選択を担うわけであり、となれば責任もともなってくる。なので、これから人権について知識を深めることは責任である。
- 私の祖父が、昨晚入院した。私の祖父は、パーキンソンを患っていることと、元からの性格などで拘束されている。若い頃苦勞をかけられた母は「自業自得」といい優しくも強くあたっていた。私はなんとも言えなかったが、そういう祖父への配慮に疑問があったのだが、この講演で考えさせられた。
- 障害を持っている人に対して、同情ではなく何か私にできることはないかや一声かけたり、存在を認める、同じであると考えて。
- 意識して周りに目を向けることは、大切なことだとよく分かった。医療従事者になるにあたって、人権について考える機会を得ることができて良かった。
- 本日の研修会では、主に障害者・患者を対象にした人権というように感じました。医療者・介護者の人権が個人的に関心があります。そちらの方のことにもライトを当てて講義を聴くことができたらと思います。

- 一人の人が円の中心にいるとき、ただ「この人を見てください」と言われると、特に意識せず見ていたので、特徴など見ていなかったが、観察することは看護でも大切になるので実習中だけでなく日々、いろいろなことに気づけるように視野を広げて観察していきたいと思った。
- 「人権」というのは、考えれば考えるほど難しいもので、誰もが持っているものなのに、それについて考える機会は少ないので今回の研修会でお話を聞くことができ良かったと思いました。
- 「『意識』して物事を見ることで見えるものが違ってくる」という言葉が印象に残っています。今回の研修会で、人権について改めて意識し考える機会が与えられたことで、今までよりも視野が広がったような気がします。
- 人工妊娠中絶でなくなった胎児の遺体を医師がゴミとして捨てたことについて怒っていると話していたことについて。では、豚肉・鶏肉・牛肉などを生ゴミとして捨てていることについてはどうなるのかと思った。結局人は人間中心に考えているんだと感じた。すべての生き物の権利について考えられていないのに、人権について考えることは少し難しかった。
- 今まで何気なく過ごしていたが、今日の研修を受けてどれだけ自分の視野が狭いか周りへの意識が足りていないか気づいた。看護をするうえで「観察」は特に大切だと思っていた。しかし、思うだけで十分に行えていなかったと思った。目の前のことだけではなく、それに関わる周りへ目を向けることでさらに対象への理解を深められると思った。
- 人権の基本となるのは、人と人との中の言動や行動が関わっているということを学びました。自分自身も相手を尊重できているのか、自分に誇りを持つことができているのかを考えていきたい。
- 今日のお話を聞いて、今までの自分の行動や言動をもう一度見直して、自尊感情を持ち続けたいと思いました。また、自分の視野の狭さに気づくことができたので、今後は客観的に物事を捉えて観察していきたいと思います。
- 看護職に就くにあたり患者さんの行動・言動を観察していくうえで自分が観察しようとしていることにしか焦点が向いていないということを改めて実感することができました。また、人権については、健常者との比較をしてしまったり病気故の症状なのに、そのことについて不満に思ってしまったたり、自分ばかり大変だと思っていたので、ちゃんと相手のことを知り、相手に認められるように考え過ぎずに近づいていくことの大切さを考えさせられました。今回の研修で考えたことが多くあったので、実習又は人間関係上のコミュニケーションなどで思いだし、使っていきたいと思いました。
- 普段何気なく生活している中で、もっと人権について考える機会を持つべきだと改めて感じた。資料をもう一度振り返って人権を考えようと思う。
- 自尊感情は他者に育まれる、否定されると死を感じる、という人間の本能的なシステムがとてもし考えさせられました。自分たち医療者と患者さんの間の人権をもっと学びたいですが、職場での人間関係における人権も興味があるので学びたいと思いました。
- 自分がそれで良いと思ってとった行動でも、時には相手を傷つけたりするんだなと資料を見て思った。看護職をする立場なので、より相手の立場に立った行動を考えることが大切なのだなと思った。
- 人権や平等について、様々な考え方、とらえ方があるんだなあという風に感じた。
- 病院で実習をしている際、よく体感抑制などを見かけるし、受け持つこともあるので今回改めて病院での人権を考えることができました。
- 人権について考えを深めることができました。医療に携わるようになる人間として、大切なことであると感じました。

- どんな人にも人権が有り，一つ一つの行動に責任を持ち，尊厳を大切に接することが大切だと思いました。
- 人として関わることの重要性を改めて考えることができました。今回の研修をもとに生活と実習に役立てたいと思います。
- 自尊感情は，当然なようで忘れがちにもなってしまうから，医療に携わるものとして常に意識していきたいと思った。
- 障害者の人に親切だと思ってやっていることが，本人には不快にさせていたりできることを阻害してしまっているのかと思った。
- どんな人にも人権があることを忘れずに，これから仕事をしていく際には関わりをもっていきたいと思いました。
- 人権について「意識」なき時には，敬意を持って処遇される権利，今，私にとってとてもタイムリーなことでしたので，とても勉強になりました。
- 意識しないと気づかないことに気づけて良かったです。人権は特別なことではなくて，相手を思いやる人間関係が社会で築ければ自然と尊重されるのではないかと感じました。
- 木に例えた時の根が見えないことが分かりやすかった。物事に集中すると周りを見ることが困難になると改めて知った。障害者というと支援を行わなくてははいけないと思ってしまっていた。患者と看護間の人権についても知りたかった。
- 人権について考える機会はあまりないため，今回のこのような機会の人権について考えられたので良かった。
- これから人権について意識しながら実習していきたいと思いました。
- 個人の自尊感情は，一人の人間として大切な人権であることが分かった。今後実習で患者と関わるうえで，個人の人権を尊重してその人の人生の助けになれるような援助を心がけていきたいと思った。
- ユマニチュードの基本は大事なんだと改めて聞いて思いました。意識しなければ見えないことがあると気づかされました。
- 自分と他者の関係性が，ある状況によっては変化するということが，気にしたことはなかったのですが，その通りだと思いました。また，人のことをじっくり見ることって難しいと思いました。見られることもそこまで意識したことがなかったです。でも，相手のことを視覚だけで「こんな人」と決めつけられるにはもっといけないとも思いました。おばあさんのテーブルは，泣けました。
- 人権や人を思いやることは，普段から意識すべきだと改めて感じました。
- 今までなかった視点での考え方があって，自分の視野が広がったように感じた。
- 今後，人を対象とする職に就く身として，また，日常の友人・家族との関わりの中でも人権を大切にしたいと思った。
- 人権については，これまで当たり前にあるものとして，特に意識できていなかったように思います。意識することの大切さを改めて認識できました。
- 実習をしていると患者の人権と看護業務のバランスが難しいと感じます。何よりその人の意思を聞くと言うことが大事だと思いました。でも，生きている中でこういうことを考えて人と接しなければいけないというのは何となく疲れるなあと思いました。自分の中でもバランスを保ちつつ生活をしなければならない。人を尊ぶこと，自分を尊ぶこと，どちらも大事。
- 患者は私たちとの関係性で患者であり，他の関係性では患者ではないというのが考えさせられた。患者の人権を守ると普段使っているが，その本当の意味を理解していなかった。患者が人間として誇りをもって生活できるよう看護をしていきたい。
- 自尊感情は，移動狩猟採集生活時代の環境が関係していることが生まれた背景にあると分

かり、大変興味深かった。「おばあさんのテーブル」を読んで考えさせられた。

- これまで人権についての学習をしてきましたが、特に日常生活の中で意識することはありませんでした。しかし、本日の研修会でこれからの考えを改めなければならないと考えさせられました。
- 医療関連の事例を実際に取り上げており分かりやすかった。障害のある方への療法、具体的な方法を知ることができこれからの看護師の学習にとっても役立つと感じた。
- 様々な視点から人権や障害者の支えの信条を学ぶことができ良い機会、貴重なセミナーだと思います。
- 普段人権のことについて考えることがあまりなかったので、深く考え良い機会となったと思います。障害者の方と触れあう機会があるときには、今日のことを糧に接したいと思います。ためになるすてきなお話をありがとうございました。
- 人は人に認められることで生きようと頑張り、否定されることで生きる気力等奪われることもある。また、人は見ようとしなければ関心を持たないということから実習においても、相手の一側面だけを見るのではなく、全体像を捉えるためには、多方面に関心を持って日々実習に臨みたいと感じた。
- お忙しい中、ありがとうございました。普段、人権なんて考えたこともありませんでしたが、生きていく上で尊重しなければならないものだ学びました。相手のことを考えられるような看護師になりたいと思います。
- 障害者（重篤児）に興味がありますが「支えの信条」について共感できる部分と傲慢だなと感じる部分があり、あまり興味が持てなかった。
- 三條先生のお話の中に排尿パックの話が出てきて、今までそういう物という意識がなかったため、はっと気づかされました。もっと他にも気づかない所で自尊心を傷つけてしまっていると思うので、これからの実習で気をつけていこうと思いました。末田先生の最後の動画を見て、とても泣きそうになりました。自分がかわいそうと思うことは偏見であると思ったので、これから気をつけたいと思います。
- 看護師になる上で患者さんに指導を行うことがあると思います。その時に、患者さんに威圧的にならないように、人権を大切にすることを心がけたいと改めて気づくことができました。私も怒られたときに、自分ができない人間のような気持ちになったのでよく分かりました。
- 日常の中で「人権」を意識することはあまりありませんでしたが、これから医療従事者になるということでは、人権を守りながら人と関わっていくことは大切なことだと改めて気づきました。